

広島原爆被害

1945 年 8 月 6 日午前 8 時 15 分、一発の原子爆弾が広島市内中心部地上約 600m の上空で爆発。同年 12 月末までに約 14 万人が死亡。

広島訪問 8 月 4 日～5 日

組合員 24 名、職員 2 名で今年も参加しました。「被爆・戦後 80 年」、改めて平和な世界へ思いを馳せる 2 日間でした。



2025 ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ報告 被爆者の想いに触れ 平和を願う旅に

長崎訪問 8 月 6 日～8 日



全域理事、職員 1 名で長崎を訪問し、被爆の実相に触れ、核兵器の廃絶と世界平和への思いを新たにしました。

長崎原爆被害

1945 年 8 月 9 日午前 11 時 2 分、一発の原子爆弾が長崎市内中心部地上約 500m の上空で爆発。同年 12 月末までに約 7 万人が死亡。

千羽鶴を「原爆の子の像」へ 捧げました！

組合員さんからご協力いただいて作成した **26,000 羽**の千羽鶴を、みなさんの平和への想いととも「原爆の子の像」へ捧げました。鳥取県生協では、これからもこの取り組みを継続していきます。



「家族伝承者」杉浦圭子さん からお話を伺いました

お父さんが被爆された時の様子を詳細にお話いただき、改めて原爆の恐ろしさを実感しました。また、被爆の語り部をされていた沼田鈴子さんが、アメリカで真珠湾攻撃のことを謝罪した話など、アナウンサー時代の取材経験を基に貴重なお話を伺うことができました。

杉浦さんの、「**ヒロシマの羅針盤**」
**「みんな、大切な
ひとり 世界中の
すべての人の命の
重さに違いはない」**
という言葉がとても
印象的でした。



千羽鶴を寄贈

組合員さんからお預かりした千羽鶴を原爆落下中心地碑へ捧げました。



長崎原爆資料館見学

様々な被爆遺品や当時の写真から、長崎での甚大な原爆被害を実感しました。また、核兵器開発の歴史や世界の平和希求の動きを学びました。

広島平和記念資料館を見学しました

被爆当時の写真や絵、遺品などの資料が展示されていました。大切な人を失った悲しみ、孤独、放射線の後遺症による苦しみ。ごく普通の日常が突然奪われ、人生が一変してしまった人々の生々しい現実を知りました。また、核兵器の危険性、核兵器廃絶・平和な世界へ向けての動きを学ぶことができました。



虹のひろばに参加しました

日本被団協事務局長の濱住さんに、体内被爆の実相や核兵器廃絶に向けてのお話をいただきました。その中で、「**証言を大事にしたい**」とおっしゃっていました。私たちが被爆者の声に耳を傾け、記憶を継承していくことの重要性を再認識しました。

また、基町高校の「原爆の絵」など、高校生や様々な団体が取り組んでいる平和活動の紹介・展示がありました。若い世代が活動している事を心強く感じました。

裏面に、参加者の感想を紹介していますので、ぜひご覧ください！

奪われた多くの 子ども達の命



旧城山国民学校校舎原爆資料館

被害にあった校舎の一部を資料館として保存していました。在籍していた児童 1500 人のうち、1400 人余りが亡くなり、500 人以上の児童の名前が現在も分かっていないそうです。

被爆者：八木道子さん 被爆の証言

爆風・熱線・放射線の恐ろしさと、当時 6 歳の被爆体験をお話くださり、「あの 11 時 2 分を境に多くの子どもたちの命が奪われてしまいました。核兵器だけは絶対に使ってはならない！」と訴えられました。

1945 年 8 月 9 日 11 時 01 分までの当たり前の生活が 1 発の原子爆弾により、愛する人を奪い、多くの苦しみや悲しみを生み出してしまった事実を私達は忘れてはいけません。1 人 1 人の力は微力ですが無力ではありません。争いのない安心して過ごせる平和な世界の実現のために一緒に考えていきましょう。（園山麻美全域理事）

◆ナガサキ・虹のひろば

全国から生協組合員・職員が集まり、被爆の証言や高校生平和大使の発表、中学校吹奏楽部の演奏などが催され、核兵器廃絶と平和への想いをみんなで共有しました。虹のひろば一見逃し配信中です！リンクは裏面を見てね★



詳しい報告はこちらからご覧いただけます。



ホームページ



Instagram

ピースアクション in ヒロシマ 参加者の感想

(子ども)

・1つの原爆であつという間にたくさんの人が死んでしまったり、被爆してずっと苦しい思いをしている人もいることを知りました。戦争も核兵器もない平和な世界を実現するのが大切だとわかりました。

・過去のことだから私たちには関係ないという考えを持つことは違うし、今後あつてはならないことだから原爆についてもっと知るべきだと思いました。戦争をなくし平和な世界にするためには誰もが戦争や原爆について深く知り、絶対に戦争をしてはいけないということを広めることだと思います。

(大人)

・広島平和記念資料館に、息子は怖いという感想を持ちましたが、その気持ちを感じられたことは大事なことだったと思います。小学5年生、戦争のことも理解し、考えられる年頃に来てよかったです。

・原爆、核兵器は現在だけでなく将来の世代の健康に重大な影響を与えること、原爆投下により生きたくても生きられなかった人たちの思いを知り、平和は、自分たちの生活を守り、夢をかなえるために必要なことだと実感しました。

・今回「ピースアクション in ヒロシマ」に参加して考えたことを周りの人たちに伝えたり、日常の中で何でこれをするのだろうと迷ったとき、これは平和のためにしていることなのかなと考えたり、自信を持ってそう言える行動をしていきたいと思いました。

・1人1人受け止め方や考え方は違うけれど、最後に行き着く所は皆が同じ「世界の平和」ではないでしょうか。人間は誰も生身で痛い思いや辛い思いはしたくないはず。自分がそんな目に遭わないなら他人が苦しんでも良いわけがないと今回の広島で強く感じました。



平和募金を受け付けています！

ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキの費用の一部に、組合員さんからお預かりした**平和募金**を充てさせていただきました。募金へのご協力、誠にありがとうございました。

平和募金とは、平和について学び、考え、広げて、次の世代へ語り伝えていく活動に活用させていただくために、通年受け付けている募金です。注文書に「**1523**」と口数をご記入いただくと**一口100円**から募金していただけます。

これからも組合員のみなさんとともに平和の取り組みを継続していきます。



ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキのサイトは下記の二次元コードから！
「虹のひろば」の見逃し配信もご覧いただけます。



ユニセフ募金も通年受け付けています。
注文書に「**1522**」と口数をご記入いただくと、**一口100円**から募金していただけます。

ミャンマー地震緊急募金の呼びかけを、4月28日～6月28日の期間行い、**1,089,000円**の募金が寄せられました。みなさんのご支援に、心より感謝申し上げます。
「虹のかけはし基金」からの拠出 **150,000円**と合わせて、計 **1,239,000円**を8月末に日本ユニセフ協会へ送金いたしました。

くらし助け合いの会

組合員同士がくらしを支え合う **有償ボランティア活動** です！

ちょっとしたくらしの困りごとに手助けをし合う仕組みとして広がってきた「くらし助け合いの会」。お手伝いしてほしい組合員さんをお手伝いしたい組合員さんが援助を行う活動が『くらし助け合いの会』です。

食事の準備を手伝ってほしい



片付けや掃除をしてほしい



お墓掃除をお願いしたい



犬の散歩をしてほしい



高いところの電球を変えてほしい



お手伝いしたい人

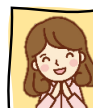
～都合の良いときに、得意なことで活動～

活動費 **900円** / 1時間

(時間外+200円、屋外+200円)

活動時間 **8:00～17:00**

(月～金曜日、土日祝祭日は時間外)



お手伝いしてほしい人

～くらしの困り事を支援してもらえ～

利用費 **1000円** / 1時間

(時間外+200円、屋外+200円)

利用時間 **8:00～17:00**

(月～金曜日、土日祝祭日は時間外)

くらし助け合い募金

『くらし助け合い募金』は、組合員全員参加の**応援募金**です。組合員どうしが共に学び合い、自主的なくらしの相互援助活動が充実するようご協力をお願いしています。



注文書の「4～6 ケタ注文欄」に、注文番号と口数をご記入ください。

注文番号 募金金額 (一口)

1520 100円

今年度も多くの組合員さんにご協力をいただいています。

4月～8月までの募金申込額は、

56,200円となりました。ありがとうございます。

「くらし助け合い募金」は、活動会員やコーディネーターの研修会など学びの場や、活動を組合員や地域にお知らせするための後方活動に役立てられます。

お問い合わせ先 **090-3172-1432** 『くらし助け合いの会』事務局 (月～金 9:00～17:00)